

表1.南極海及び北西太平洋鯨類捕獲調査の副産物中のPCBs、総水銀及びメチル水銀濃度

鯨種	部位		PCBs ($\mu\text{g/g}$)	総水銀 ($\mu\text{g/g}$)	メチル水銀 ($\mu\text{g/g}$)
南極海 ミンクジラ (’89-’98)	筋肉	平均値 (最少～最高) 標本数	0.00018 (0.00008-0.0003) 3	0.027 (0.003-0.070) 227	NA
	脂皮	平均値 (最少～最高) 標本数	0.058 (0.023-0.11) 3	NA	NA
	腎臓	平均値 (最少～最高) 標本数	NA	0.045 (0.004-0.33) 228	NA
北西太平洋 ミンクジラ (’94-’01)	筋肉	平均値 (最少～最高) 標本数	0.025 (0.005-0.06) 4	0.2 * (0.004-0.83) 638	0.12 (0.017-0.19) 40
	脂皮	平均値 (最少～最高) 標本数	1.8 (0.29-4.9) 17	0.02 (<0.01-0.06) 15	NA
	腎臓	平均値 (最少～最高) 標本数	NA	0.84 (0.013-4.1) 638	0.040 (0.004-0.080) 40
北西太平洋 ニタリクジラ (’00-’01)	筋肉	平均値 (最少～最高) 標本数	0.015 (0.001-0.041) 3	0.048 (0.004-0.12) 93	0.025 (0.001-0.037) 43
	脂皮	平均値 (最少～最高) 標本数	0.13 (0.03-0.21) 3	NA	NA
	腎臓	平均値 (最少～最高) 標本数	NA	0.22 (0.011-0.77) 93	0.009 (0.001-0.009) 43
北西太平洋 マッコウクジラ (’00-’01)	筋肉	平均値 (最少～最高) 標本数	0.077 (0.022-0.15) 3	2.1 (0.86-4.6) 13	0.70 (0.45-1.1) 5
	脂皮	平均値 (最少～最高) 標本数	1.7 (1.1-2.0) 3	NA	NA
	腎臓	平均値 (最少～最高) 標本数	NA	5.4 (2.2-11) 13	0.40 (0.29-0.51) 5

NA: 未分析

* : 北西太平洋ミンクジラの筋肉中総水銀濃度が、0.4ppmを越えていた個体は、638検体中8検体であった（全体の1.3%）。しかしながら、最近4年間の捕獲調査で得られた検体から、この暫定的規制値を超える検体は、認められなかった。

（参考）ミンクジラの筋肉中総水銀値

1994～1997年: 平均値0.23ppm（範囲 0.009～0.83、検体数 298）

1998～2001年: 平均値0.18ppm（範囲 0.004～0.35、検体数 340）